

早いもので今年も残すところ1カ月余りとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今回の Season in The CUDO、まずはCUDマーク取得事例のご紹介から初めて参ります。

C U D 認 証 事 例

CUDマークを取得した事例をご紹介します。(順不同)

亀田製菓株式会社

「亀田の柿の種」

<https://newscast.jp/news/3085916>

2016年以來8年ぶりとなるパッケージデザインリニューアル。新パッケージでは、色覚の個人差を問わず多くの方により安心してお楽しみいただけるように、「180g亀田の柿の種 6袋詰」のパッケージデザインの配色にユニバーサルデザインを採用しました。



上)旧パッケージ (下)新パッケージ

プラス株式会社

「年組氏名 PP フラットファイル ユニバーサルカラー」

<https://bungu.plus.co.jp/product/file/school/nenkumi/flatfile.html>

識別しやすい配色で色覚の多様性に配慮したフラットファイルです。水色、緑色、クリーム色、ピンク色、青色、赤色の6色があり、色名の表示でよりわかりやすくなっています。



プラス株式会社 「みんなのふせん 強粘着」

https://bungu.plus.co.jp/product/file/school/cud/?gl=1*1ubmlz5*gclau*N DY2NzAxNTgyLjE3NTc4MzY3NjI

識別しやすいユニバーサルカラー5色(あお、みどり、オレンジ、ピンク、ちやいろ)のカラーアソートセット。色名の表示でよりわかりやすくなっています。



株式会社ローソン

「ローソン銀行ATM新型機」

https://www.lawsonbank.jp/corporate/release/pdf/20240126_01_release.pdf

2018年9月の開業以来初めて開発したATMの新型機。現在、全国のローソン店舗などで順次入れ替えを実施しています。実際に新型機を利用したことのある色弱の方からは、「画面表示が見やすくなった」との声が届いています。



2025年10月5日、埼玉県さいたま市にある「さいたまスーパーアリーナ」で開催された「第37回埼玉県『目の愛護デー』」にブースを出展しました。このイベントは埼玉県眼科医会と埼玉県腎・アイバンク協会が主催で、展示コーナーにはCUDOを含め13のブースが設けられました。

展示コーナーには「色覚異常疑似体験」の看板と共に会議用のテーブル1つと掲示用のボードが用意され、午前11時からCUDOスタッフ1名と、このイベントの手伝いを買って出た賛助会員2名の計3名で準備を始めました。CUDOが出展しているイベントの中では最もコンパクトな展示であり、まずは4種類のパネルをボードにセット。次にCUD関連書籍やパンフレットなどをテーブルに並べ、最後はCUD関係のスライドをエンドレスで流すタブレットを設置し、準備が完了しました。

このイベントの来訪者は、眼科医会など主催者側の関係者や、目の健康に関心のある方など、目的意識の高い方々が多いと考えられます。実際、CUDOのブースに訪れた方も時間を掛けて興味深くパネルを読んで下さっていました。そうした方々に色覚異常の「疑似体験」をしていただくのが出展の主旨ですので、まずは「体験してみますか？」とスタッフからお声掛けをしてみます。するとほとんどの方が「体験したい」とおっしゃるので、すかさずバリエントールを掛けてもらい、色の見え方の変化を「体験」してもらいます。その際は「色の見え方」のパネルにより、12色のカラーパレットの横の列の色が見分けられなくなることを実感していただきます。また、「色弱者の存在」のパネルを用いて色弱者が

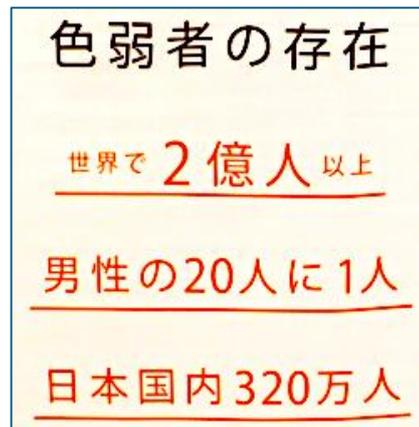


第37回埼玉県「目の愛護デー」のパンフレット



来場者(右)がバリエントールを掛けて色覚異常の疑似体験中(左はCUDOスタッフ)

日本人男性の20人に1人の割合で存在することを説明すると、大半の方は「そんなに多いのですか？」と驚きます。CUDについては「問題と改善」のパネルを見ていただくことで改善後の効果を実感していただく。その後、更に詳しく知りたい方にはテーブル上の書籍を紹介し、入会を勧めるパンフレットをお渡ししました。



昨年までのこのイベントでは、CUDOのブースを訪れる人はそれ程多くなかったのですが、今年は会場直後から次々と人が訪れました。イベントに来場した人だけでなく、他のブースの出展者の方にも来ていただきました。色覚異常を疑似体験するためのバリエントールは一時順番待ちが発生する程で、これを見た他のブースの出展者からは、「盛況でよかったですね」と声を掛けていただきました。一方で事前に用意したパンフレットが途中で底を突きそうになり、急遽スタッフがコンビニでパンフレットを増刷して何とか「品切れ」を回避しました。CUDOの知名度の向上とCUDの普及につながったと感じた一日でした。



パネル展示の抜粋
下のパネルの左が改善前、右が改善後

12年前に第1回が開催されたCUD友の会は、今年の11月に第100会を迎えます。これを記念し、CUD友の会のページでは2回に分けてこれまでの歩みを振り返ります。

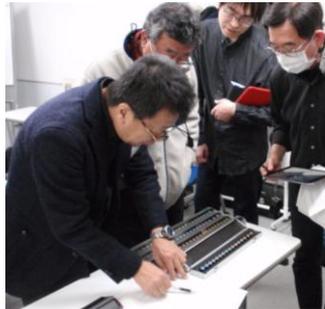
右の欄に第1回から第50回までの開催リストを示しました。(第51回以降は次号に掲載の予定)第1回の開催は2014年2月16日で、この時は「個人賛助会員の集い」という名称でした。活動の主旨は、会員相互の親睦を図ると共に、「個人からでもできること～足元からのCUD普及～」について考えることとなっていました。

第1回はCUDO事務局により開催されましたが、その後、会を運営する為の世話人会が設けられ、10人の世話人を中心に、CUDO事務局のサポートを受けて、9月21日に第2回となる「個人賛助会員懇談会」が開催されました。

現在使われている「CUD友の会」になったのは第3回からで、言いやすく、わかりやすい名称にした方がよいとの意見により変更したものです。この会のテーマは色覚検査で、CUDOにある色覚検査器具を使って色覚検査を体験するというものでした。中でも確定診断に用いるアノマロスコープは、一般の眼科クリニック・病院にはほとんど置かれていないもので、貴重な体験が出来ました。



左写真:アノマロスコープ



右写真:パネルD-15

また、この第3回から定期的な開催が実現しました。現在でも続いている、1カ月に1回、土曜日午後2時～4時に開催する基本形が出来たのもこの回からです。実際には三連休の時や、CUDO賛助会員の集いがある月は休会としていた為、開催回数は年間8回前後で推移しています。

第45回と第46回の間に7カ月の間が空いてしまったのは、新型コロナウイルスの蔓延による影響です。この時期を境に開催方法も大きく変化し、第45回までは基本的にCUDO事務所の会議室に参加者が集まる形式だったものが、第46回以降はオンライン形式での開催が主流となっています。会員相互の親睦を図るといふ点においては対面での開催が理想的ではあるものの、オンライン形式にすることにより、これまででは会場に来ることが出来なかった遠方の会員が参加できるようになりました。また会場へ移動する為の時間や費用が節約できるといったメリットもあることから、今後もオンライン形式での開催が主体となるのではないのでしょうか。(以下、次号に続く)

CUD友の会開催リスト(第1回～第50回)

回数	開催日	テーマ
1	2014/2/16	(第1回 個人賛助会員の集い)
2	2014/9/21	(第2回 個人賛助会員の懇談会)
3	2015/3/21	色覚検査
4	2015/4/18	CUD美術館
5	2015/5/16	育児で気付いた色使い
6	2015/6/20	CUD川柳&教科書展示会ツアー
7	2015/7/18	当事者の話とバリエーション体験
8	2015/10/17	海外の色使い
9	2015/12/19	2015年活動報告と2016年活動計画
10	2016/1/16	わかりにくい配色の例
11	2016/2/20	"オープンガバメントとは?" "Fix My Streetにトライしてみよう" "街中でCUDIに問題がある表示等を見かけたときにできることは?"
12	2016/4/2	お花見
13	2016/6/18	色覚検査体験
14	2016/7/23	バリエーション工場見学
15	2016/8/20	『バリエーション工場見学』の報告会
16	2016/9/17	色弱のお子さんを持つご家族の交流会
17	2016/10/15	焼肉研究会
18	2016/12/17	年間活動報告
19	2017/1/21	色覚勉強会(入門編)
20	2017/2/18	色覚説明アイデア検討会2
21	2017/4/1	お花見
22	2017/5/20	色覚検査体験/保護者の交流会
23	2017/8/19	「私たちが"色合い"に不便さを感じることもある!」色弱の人以外の人の話を聞く会
24	2017/10/21	BBQ(焼肉研究会)
25	2017/11/18	CUD川柳+学校の色覚検査
26	2017/12/16	2017年の振り返りと、2018年の活動計画
27	2018/1/20	CUDOの取組報告とFix My Streetその後
28	2018/2/17	CUDのクイズ・チラシを考える
29	2018/3/31	お花見
30	2018/5/3	「北海道CUDOとCUD友の会の交流会」
31	2018/5/19	色覚検査体験・保護者と当事者の交流会
32	2018/7/21	「私たちが"色合い"に不便さを感じることもある!」色弱の人以外の人の話を聞く会
33	2018/10/27	CUDクイズのリハーサルと改良
34	2018/12/15	2018年の振り返りと、2019年の活動計画
35	2019/1/19	当事者研究とは何か?一色盲の当事者研究のためにー
36	2019/2/16	「色弱当事者研究会(仮)」の基本方針についての話し合い
37	2019/3/16	「色覚のサイエンスを勉強していたら、何が「異常」なのか分からなくなってきた話」
38	2019/3/30	「2019年多様な色覚お花見研究会」
39	2019/4/20	「色に頼る路線図、頼らない路線図」
40	2019/5/18	正しい色覚検査のための実施マニュアル/保護者と当事者の交流会
41	2019/7/20	色覚検査体験～新しい色覚検査法～
42	2019/10/19	CUDかるた(川柳)
43	2019/12/21	年間計画、他
44	2020/1/18	色覚の多様性に関する発見と色覚検査の歴史
45	2020/2/15	色弱者も利用しやすい案内サインの色覚支援手法の提案
46	2020/9/19	「街中の見分けづらい案内」～ 横浜市営地下鉄周辺のサインの色使いとその改善案 ～
47	2020/10/17	「見分けづらい公共サイン発表会」
48	2020/12/26	「来年の計画とオンライン忘年会」
49	2021/1/16	色弱者ファッション研究会
50	2021/2/20	「色弱者とカラーゲーム研究」

- CUDO賛助会員の集い
 - ・12月18日(木曜) 13:00~16:00
 - ・〒108-0075 東京都港区港南1丁目8-35
ココヨ東京品川オフィス
 - 「ココヨのカラーユニバーサルデザイン(仮)」
- CUD友の会
 - ・12月27日(土曜) 14:00~16:00
 - ・詳細は下記「コンパス」に掲載予定ですので、お待ち下さい

<https://cud-frinds.connpass.com/>

募 集

宛先はいずれもメール mail01@cudo.jp にて
(TEL/FAX の場合は:03-6206-0678 まで)

- ご意見、ご感想
Season in The CUDO へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。
- 会報誌制作スタッフ
Season in The CUDO の制作を手伝って下さるボランティアスタッフを募集しています。
- CUD友の会世話人
3ページで紹介している CUD 友の会の運営を手伝って下さる「世話人」を募集しています。
- CUD 検証協力者の募集
印刷物・機器類・公共サイン・施設などの評価や、研究調査などの協力者を募集しています。
色覚タイプは P 型・D 型色覚の方に限らせていただきます。

CUDO 個人賛助会員(会社員 S さん)による4コマ漫画です。

第13話 就職活動

1987年(昭和62年)、大学4年生になった彼は、大手住宅メーカーの面接を受けていました。

あなたは設計志望ということですが、色弱なんですか？

はい、そうです。

もし設計部門への配属が難しい場合は構造計算をやっていたりませんか？

あなたの専攻ではないので、入社後の指導はいたします。

色弱の自分への配慮はありがたかったが、できれば希望の職種につきたいと思う彼でした。

別の日、今度は建設会社の面接を受けました。

こちらからの質問は以上ですが、何か聞きたいことはありますか？

では、一つお聞きします。

どうぞ。

彼は面接で聞かれなかったことを自分から切り出しました。

履歴書に書きましたのに私は色弱ですが、設計の仕事は可能ですか？

色弱というだけで設計部に配属しないということはありません。

これが決め手となり、彼は大手住宅メーカーではなく、こちらの建設会社へ就職しました。

第14話 印刷の色は難しい

1988年(昭和63年)4月、彼は希望通り設計課に配属されました。

当時この会社ではCAD(キャド: computer aided design の略)を使い始めたばかりで、新入社員は率先してCADを使うことになりました。

製図の為の2次元のCAは、画面の色が7色位と少なく問題ありましたが、フルカラーの3次元CAは苦勞しました。

この色、わかりにくいなあ……

こうして出来上がったものをプリンターに出かして上司に見てもらったところ……

この芝生の色はタ×たな。やり直してくれるか？

申し訳ありません、修正します。

画面で見る色と紙に出かした色の違いもあるので、結構大変でした。

編 集 後 記

初めて訪れた場所では案内サイン類をチェックすることが習慣になっている私。先日所用とある地域ケアプラザを訪れた時のこと。いつものように案内サイン類を探していると、トイレの錠に目が留まりました。それは解錠表示が緑色ではなく、D型の私でも見分けやすい青色が使われていたからです。(写真1)「もしかして、CUD認証製品かも？」そう思って鍵を掛けてみたところ、施錠表示の色はオレンジ色に近い朱色でした。(写真2)

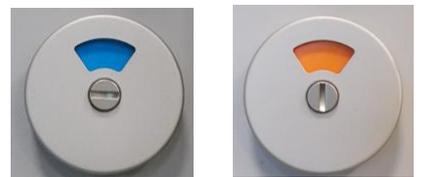


写真1(解錠) 写真2(施錠)

「これはCUD認証製品に違いない！」そう確信し、品番をメモして帰宅後にネットで検索。すると2021年にCUD認証された製品と同じ色使いの錠であることがわかりました。この施設のオープンが3年前前だったので、建設時期と製品のリリースがちょうど合ったのでしょうか。思いがけずCUD認証製品を見つけ、誰かに話したくなりました。(T.S)

d a t a (2025年10月1日現在)

- ・個人賛助会員:152人
- ・企業・団体賛助会員:58団体
- ・CUD検証協力者:158人

Season in The CUDO Summer 2025 VOL.30 2025年11月22日 発行
発行元:特定非営利活動法人 カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)
〒160-0022 東京都新宿区新宿五丁目17番6号 新宿三光町ハイム 501
TEL/FAX:03-6206-0678